

平成20年2月24日
下新川海岸高波災害から10年

あれから10年あの経験を語り継ぐ

プログラム

13:00

開会

13:05

映像

体験発表

平成20年2月24日 高波災害を振り返る

小学生での記憶

青木 颯良 (あおき そら) さん (富山県立桜井高等学校 土木科3年)

応急対応の記憶

大川 浩幸 (おおかわ ひろゆき) さん (共和土木(株) 土木部 課長)

13:55

パネルディスカッション

あの時の経験と これからの備え

当時対応された方々のお話を聞きながら
今後起こりうる災害への備えについて、
みんなで一緒に考えましょう。

<コーディネーター>

福濱 方哉 (ふくはま まさや) (富山河川国道事務所長)

<語り部>

島倉与志貴 (しまくら よしき) さん (入善町在住)

新酒 善彦 (しんさか よしひこ) さん (黒部市在住)

大井 光男 (おおい みつお) さん (朝日町在住)

神子沢喜彦 (みこざわ よしひこ) さん (入善町参事)

<コメンテーター>

川口 歳則 (かわぐち としのり) (富山県富山土木センター
立山土木事務所所長代理)

古本 一司 (ふるもと かずし) (黒部河川事務所長)

15:25

閉会

15:30

災害時の写真等のパネル展も合わせて開催します。



上空からみた入善町芦崎地区 (H20.2.24 読売新聞社撮影提供)



被害の状況 (黒部市生地) H20.2.24

主催: 下新川海岸水防連絡会

国土交通省北陸地方整備局黒部河川事務所、富山地方気象台、富山県土木部河川課、富山県農林水産部水産漁港課
富山県新川土木センター入善土木事務所、富山県新川農林振興センター、黒部市、入善町、朝日町、新川地域消防組合

【主演者プロフィール】

体験発表

青木 颯良（あおき そら）さん

入善町在住。
高波災害当時、小学校1年生で自宅が被害にあう。
現在は桜井高等学校土木科3年生で、将来は公共事業に携わる職業を目指している。

大川 浩幸（おおかわ ひろゆき）さん

黒部市在住。
共和土木株式会社土木部 課長。
高波災害当時、黒部市生地において浸水被害防止のための応急対応を実施。その後の災害復旧工事並びに多くの公共工事にも従事。

パネルディスカッション

<コーディネーター>

福濱 方哉（ふくはま まさや）

国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所長。
高波災害当時、国土交通省国土技術政策総合研究所海岸研究室長。
高波災害対策検討委員会の委員メンバーとして、平成20年3月まで復興等に向けた各種検討に従事。
平成20年4月から平成23年6月まで黒部河川事務所長として、現場において復興に向けた平成20年高波災害対策事業に携わる。



H20. 2. 24 海岸堤防を越える波
(黒部市生地地先)



H20. 2. 24 海岸堤防から300m陸側
(入善町芦崎地先)

<語り部>

島倉 与志貴（しまくら よしき）さん

入善町在住。
高波災害当時、芦崎地区の区長会長として地域住民の意見取りまとめや行政との橋渡し役として対応。
被災地区代表として災害対策本部と調整を実施し、早期復興にあたる。

新酒 善彦（しんさか よしひこ）さん

黒部市在住。
黒部市消防団生地分団 副分団長。
高波災害当時は、生地分団班長として浸水を受けた生地での巡視や土のう積みなどの応急対応にあたる。現在も生地分団副分団長として、水防活動等に携わる。

大井 光男（おおい みつお）さん

朝日町在住。
高波災害当時、入善町建設協会理事として、被害を受けた芦崎地区での応急対応にあたる。
資機材の手配や救援物資の受け入れなど、応急対応の窓口として陣頭指揮をとる。

神子沢 喜彦（みこざわ よしひこ）さん

入善町参事。
高波災害当時、入善町総務課の防災担当係長として、芦崎の現地対策本部で復興のための対応にあたる。
現在も町の防災業務などに携わる。

<コメンテーター>

川口 歳則（かわぐち としのり）

富山県富山土木センター立山土木事務所所長代理。
平成20年3月から半年間入善町に出向し、高波災害で甚大な被害を受けた入善漁港海岸施設の復興事業に携わる。

古本 一司（ふるもと かずし）

国土交通省北陸地方整備局黒部河川事務所長。
平成29年4月より現職、下新川海岸の保全整備を担う。